

平成30年4～6月の文書館月替展示について  
**幕末明治福井150年博事業**  
**「くずし字マスターへの道 ー明治編ー」**

1 展示概要

くずし字から楷書へ。その転換点のひとつが、明治時代です。転換といっても、ひと晩でくずし字が書かれなくなってしまったわけではありません。明治時代には明治時代のくずし字がありました。

展示では、明治時代の教科書や書簡をとおして、江戸時代以前とはまたひと味違う、明治時代に書かれたくずし字を紹介します。

2 期 間 平成30年4月14日(土)～平成30年6月27日(水) 文書館閲覧室

3 展示資料候補

(1) 主な展示資料 (展示ケース内)

	資 料	内 容・備 考
江戸時代 とは 一味違う	江戸時代のくずし字と違って読める！ 「過去の本の貸し借り覚書」 1892年(明治25)11月20日 N0055-00350 桜井市兵衛家文書	・延享2年に本を貸しているはずなので返してほしいといわれ、事実関係を調査
	江戸時代のくずし字よりも読めない… 「政友会の宴会での挨拶文」 1909年(明治42)06月19日 A0174-00166 池内啓収集(杉田家旧蔵)文書	・前総裁伊藤博文の帰国を祝う宴会 ・挨拶は幹事長杉田定一
	筆記用具が変わってもくずし字 「軍事郵便」 1905年(明治38)03月26日 A0052-01215 加藤竹雄家文書	・日露戦争の軍事郵便 ・筆記用具は青鉛筆
事務文書にも！ 公文書にも！ 教科書にも！	家政文書にくずし字 「華族経済に関する見込書」 1879年(明治12)08月13日 A0143-00696 松平文庫(県立図書館保管)	・渡辺洪基が岩倉具視に提出した見込書の綴りに松平家執事が表書き
	公文書にくずし字 「水産物捕獲時季調書」 1904年(明治37) 49690 歴史的公文書	・むかしは公文書も手書き、そしてくずし字
	教科書にくずし字 (1)「学童必携 童蒙学初」(2)「小学読本」(3)「帝国読本」 (1)1872年(明治5) C0037-00718 吉川充雄家文書 (2)1875年(明治8) N0055-01004 桜井市兵衛家文書 (3)1899年(明治32)1月19日 A0163-00117 橋本伝右衛門家文書	・内容を改正しても、教科書の制度が変わってもくずし字

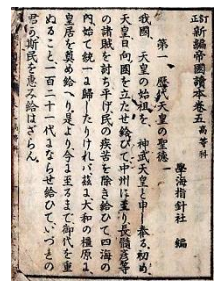
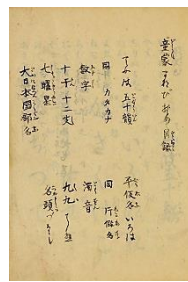
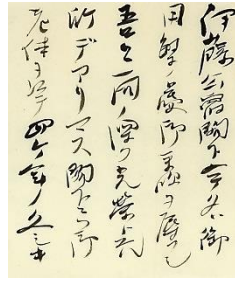
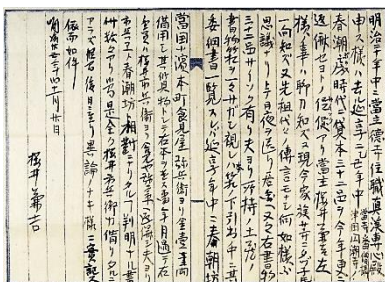
(2) パネル「福井県実業家案内すごろく」(双六のマス目に書かれたくずし字解読クイズ)

4 広 報 広報誌「県政広報ふくい」掲載  
 イベント情報(おでかけふくい)への登録  
 文書館ホームページ・文書館ふくい掲載

プレスリリースシステムへの登録  
 全庁システム掲示板への情報掲示  
 館内・フレンドリーバスでのポスター掲示

5 その他 ガイドペーパーとクイズの解答を配布

資料例



「過去の本の貸し借り覚書」

「政友会の宴会での挨拶文」

「学童必携 童蒙学初」

「小学読本」

「帝国読本」